TOSHIBA
Leading Innovation >>>

施工・取扱説明書

保管用

品　番	LEDD87951YL(W)-LSX・LEDD87951YL(S)-LSX・LEDD87951YL(K)-LSX

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お客様へ
●ご使用の前に安全上のご注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店・工事店にご依頼ください。
●本説明書は大切に保管してください。

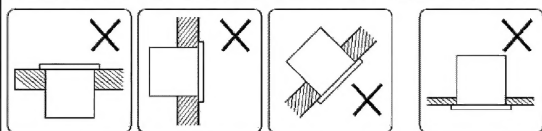
工事店様へ
●施工前に安全上のご注意と施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

安全上のご注意（必ずお守りください。）

⚠ 警告	この表示は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容」を示します。	⚠ 注意	この表示は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか物的損害の発生が想定される内容」を示します。

⚠ 警告

厳守

この器具は天井取付専用(埋込式)です。指定場所以外には取付けないでください。火災・落下の原因となります。

ブローイング工法、特殊な断熱・遮音・防音施工された天井には使用しないでください。
過熱して火災の原因となります。

器具本体表示または本説明書に従って施工してください。施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

この器具は防滴形器具です。湿気の多い場所や浴室・サウナでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。

この器具は耐塩仕様ではありません。塩害地域には取付けないでください。早期に錆・腐食等が生じ、火災・感電・落下の原因となります。

アース工事

アース工事は、電気設備の技術基準に従って確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。

禁止

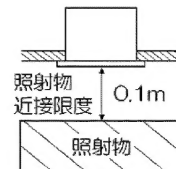
器具に荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わないでください。器具の真下にストーブ等の温度の高くなるものを置かないでください。火災・感電・落下の原因となります。

屋内配線の電源・ケーブル等が本体に接触しないように施工してください。施工に不備があると、火災・感電の原因となります。

分解禁止

器具の改造、部品の変更は行わないでください。火災・感電・落下等の原因となります。

厳守

器具の真下0.1m以内に家具等の可燃物を近づけないでください。照射物の変色・火災のおそれがあります。

調光器との併用はできません。火災の原因となります。調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換が必要です。

煙・臭い等の異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。火災・感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店、または弊社「照明ご相談センター」にご相談ください。

⚠ 注意

厳守

電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

●照明器具には寿命があります。
設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。
周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
●3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電等に至るおそれがあります。

LD02-LEDD87951-A
V170071081・V170071082・V170071083

施工説明	工事店様へ

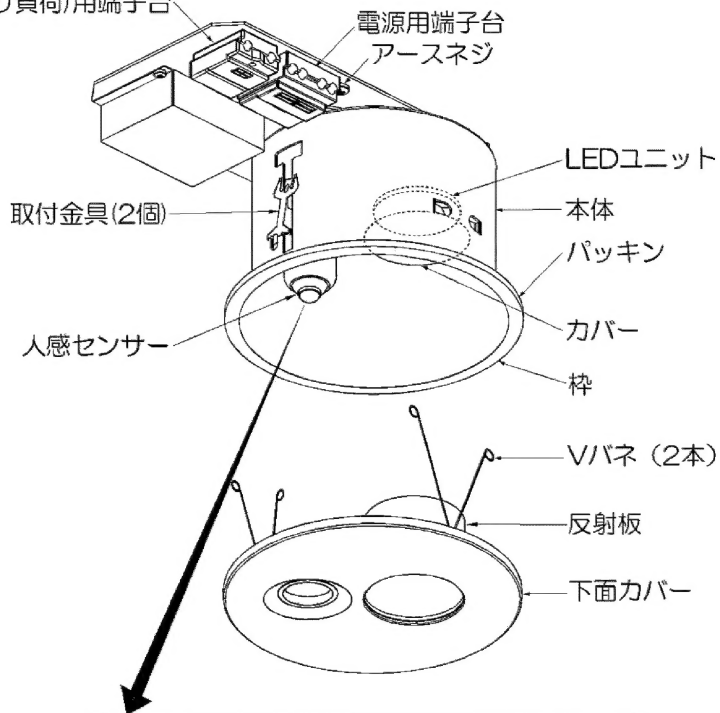
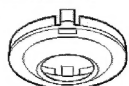
●施工前に施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●本説明書は必ずお客様にお渡しください。

仕様

●軒下専用(防滴形)
●天井取付専用(埋込式)
●高気密SG I形
●金具取付方式
●異常温度防止機能付
●連動マルチタイプ人感センサー付
●調光不可
●LEDユニットは交換不可

品番	LEDD87951YL(W)-LSX・LEDD87951YL(S)-LSX・LEDD87951YL(K)-LSX
配光	1/2照度角 60°
定格電圧	交流 100V
周波数	50/60Hz兼用
消費電力	6.8W
入力電流	0.14A
LEDユニット	演色性 Ra85 電球色(2700K)
	LED光源寿命：40,000時間
器具重量	約0.7kg
電源接続	端子台(送り総容量6A)

各部の名称

※下図は、簡略した図です。

付属部品

エリアマスク

本体(埋込部分)は防水仕様ではありません

天井内の湿度が高く結露のおそれがある場所、本体側より雨の吹き込みや水滴がかかる場所では使用しないでください。

〈左側〉 〈右側〉

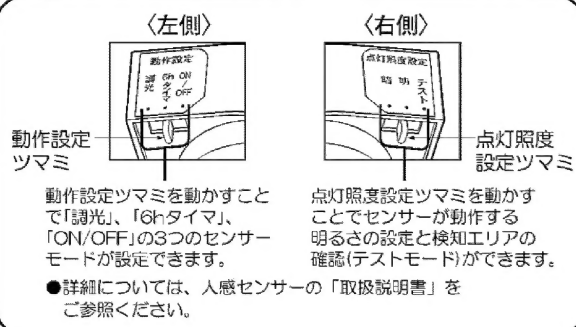
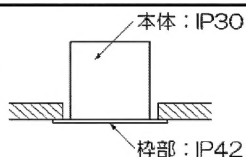
動作設定ツマミ

点灯照度設定ツマミ

動作設定ツマミを動かすことで「調光」、「6hタイマ」、「ON/OFF」の3つのセンサーモードが設定できます。

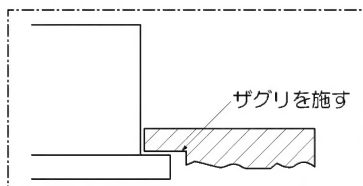
点灯照度設定ツマミを動かすことでセンサーが動作する明るさの設定と検知エリアの確認(テストモード)ができます。

●詳細については、人感センサーの「取扱説明書」をご参照ください。

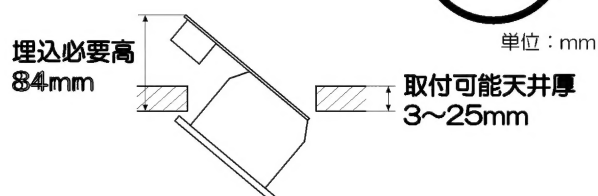
施工説明

❶ 取付け前の注意事項について

●以下の天井に取付ける場合は、器具の取付金具と天井の間に必ず補強材(鉄板、木片等)を入れてください。
・ロックウール等のやわらかい天井
・珪酸カルシウム板の天井

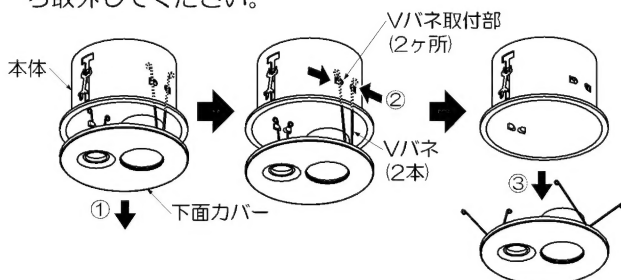
●取付面が充分乾燥してから器具を取付けてください。乾燥が不充分だと器具のメッキ部や塗装部が侵されたり、絶縁不良の原因となります。

●表面に1mm以上の凹凸がある天井はザグリをし、平らにしてください。そのまま取付けると、光モレ·気密性の低下の原因となります。

⚠ 警 告	
厳守	壁スイッチは必ず設けてください。動作点検確認の為、必要です。

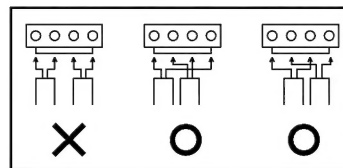
❷ 天井面を確認する

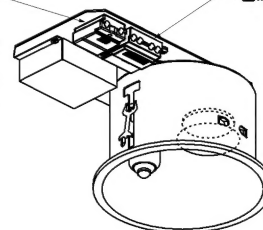
●埋込穴と埋込必要高、取付可能天井厚を確認してください。

⚠ 警 告
指定寸法以外の天井には取付けないでください。落下の原因となります。

❸ 下面カバーを取外す

①本体から下面カバーを引き下げてください。
②③Vバネ(2本)をせばめながら、Vバネ取付部(2ヶ所)から取外してください。

❹ 電源線を接続する(作業前、必ず電源を切る)

<電源用端子台に電源線を接続する>

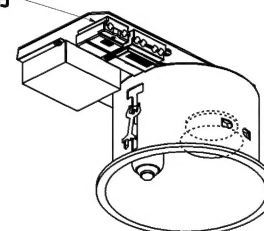
●電源線を電源用端子台に適切、確実に差し込んでください。

連動側器具(送り負荷)用端子台

⚠ 警 告
連動側器具(送り負荷)用端子台に電源線を差し込まないでください。 火災·故障の原因となります。

●アースネジを使用して、必ずD種(第三種)接地工事を行ってください。

<連動させたい場合>

●適合電線を連動側器具(送り負荷)用端子台と連動させたい器具の端子台(電源側)に奥まで確実に差し込んでください。

※適合電線は別途ご用意ください。

※連動側器具(送り負荷)用端子台に電源線を接続しないでください。

施工説明

●接続可能容量は
・ＬＥＤ調光タイプ10～60VAまで使用可能。
・白熱灯120Wまで使用可能。
・蛍光灯は使用不可。

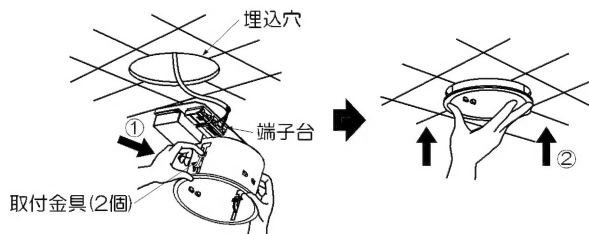
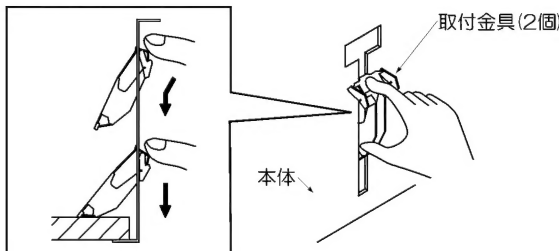
●ロングラン機能、人感センサーは使用不可。

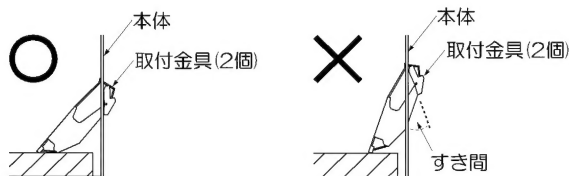
⚠ 警告	
適合電線を使用し、確実に接続してください。接続が不完全な場合、火災の原因となります。	定格以外の電圧では使用しないでください。火災･感電の原因となります。

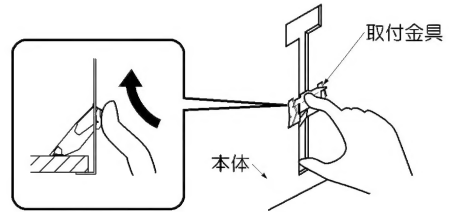
<電源線を取外す場合>

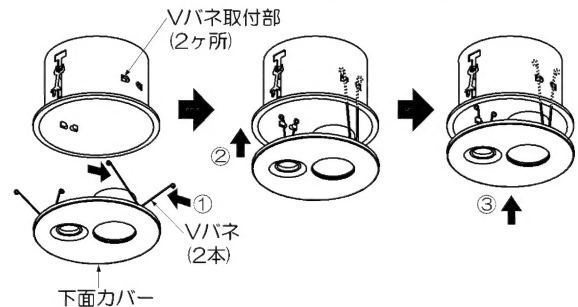
●ドライバー等で解除ボタンを押しながら、電源線を引き抜いてください。

⑤ 本体を取付ける

①②本体の外側から取付金具(2個)を両手で押えながら、埋込穴に本体を端子台側から挿入して押し上げてください。

●取付金具(2個)の背を指で押し下げ、確実に固定してください。

⚠ 警告
取付けが不完全な場合、落下の原因となります。
器具が天井の造営材･ダクト等の設備に触れないようにしてください。火災･感電の原因となります。

※取付金具と本体との間にすき間のある場合は確実に取付いていません。再度確実に取付けてください。

<本体を取外す場合>

●取付金具を押し上げ、埋込穴から本体を取外してください。

⑥ 下面カバーを取付ける

①②Vバネ(2本)をせばめながら、Vバネ取付部(2ヶ所)に取付けてください。
③下面カバーを軽く押し上げ取付けてください。

⚠ 警告
取付けが不完全な場合、落下の原因となります。

⑦ 使用前に確認する

●取付状態･点灯状態を確認してください。

①ブレーカー、室内スイッチをONにしてください。

⚠ 警告	
厳守	壁スイッチは常にON状態でご使用ください。 誤動作の原因となります。

②1）電源投入直後(停電復帰直後)から約30秒間は周囲の明るさ(照度)に関係なく点灯となります。
※センサーが安定するまでの時間で故障ではありません。

2）その後約30秒間はテストモードに入ります。周囲の明るさに関係なく、人体を検知すると約5秒間照明が点灯します。検知エリアを確認してください。

3）テストモード終了後、自動的に設定モードに入ります。
※出荷時の設定は動作設定ツマミが「ON/OFF」、点灯照度設定ツマミが「暗」となっています。

③動作設定ツマミを動かし、「調光」、「6hタイマ」、「ON/OFF」の3つのセンサーモードから設定してください。
点灯照度設定ツマミを動かし、センサーが動作する明るさを設定してください。

※モードの設定については「各部の名称」ならびに人感センサーの「取扱説明書」をご参照ください。

取扱説明	お客様へ

●ご使用の前に安全上のご注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

ご使用方法

通常は壁スイッチをONにした状態でご使用ください。

壁スイッチが「ON」の時	1. 周囲が暗くなると	調光モードの時は、弱点灯状態になります。
		6hタイマーモードの時は、6時間の弱点灯状態の後、消灯状態になります。
		ON/OFFモードの時は、消灯状態のままです。
	2. 人を検知すると点灯状態になります。	
	3. 約60秒間点灯した後	調光モードの時は、弱点灯状態になります。
		6hタイマーモードの時は、弱点灯状態または消灯状態に戻ります。
		ON/OFFモードの時は、消灯状態に戻ります。
	4. 周囲が明るくなると消灯します。(人を検知しても照明は点灯しません。)	
壁スイッチが「OFF」の時	1. 周囲が暗くなっても、人が近づいても、全く反応せず、消灯したままです。	

●詳細については、人感センサーの「取扱説明書」をご参照ください。

ご使用に関して

〔留意点〕

●電源投入直後(停電復帰直後)は、約30秒間は動作が安定しません。(センサーが安定するまでの時間で故障ではありません。)
●検知範囲に犬や猫が入った場合、動作することがありますが、故障ではありません。
●季節等の温度変化により、検知範囲が多少変化することがありますが、故障ではありません。
※センサーの動作に異常を感じた場合は、人感センサーの「取扱説明書」7ページの「修理を依頼される前に」を一度確認してください。

〔周囲の影響〕

器具の近くで使用すると以下の現象がまれにあります。
●ラジオやテレビ等の音響・映像機器への雑音。
●リモコン機器(シャッター等)のリモコンが動作しにくくなる。
●トランシーバやラジコンのコントローラ等の無線機により器具が点滅する。
※異常を感じた場合は、販売店、工事店、または弊社「CSセンター」までお申し出ください。

〔ご注意〕

●点灯時、消灯後には若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。
●器具に殺虫剤等をかけないでください。変質・変色の原因となります。

⚠ 警告
LEDを直視するのはおやめください。目に悪影響を及ぼすおそれがあります。

取扱説明

保証について

- 保証期間は、**商品お買い上げ日より1年間です。** 但し、LED器具の点灯装置、蛍光灯器具・HID器具の安定器(インバータバラスト含む)については3年間です。
- セード、グローブ、リモコン送信器は保証対象とし、ランプ、点灯管、電池などの消耗品は対象外とさせていただきます。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。

保証の免責事項

1. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(2)お買い上げ後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
(4)車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障および損傷
(5)施工上の不備に起因する故障や不具合
(6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障および損傷
(7)日本国内以外での使用による故障および損傷
2. 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター

0120-66-1048 (通話料：無料)
受付時間：365日　9：00～20：00
携帯電話・PHSなど　046-862-2772(通話料：有料)
FAX　0570-000-661(通話料：有料)

お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

日本国内専用
Use only in Japan

東芝ライテック株式会社　住宅照明部　〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34　TEL(044)331-7553 FAX(044)548-9604

お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。

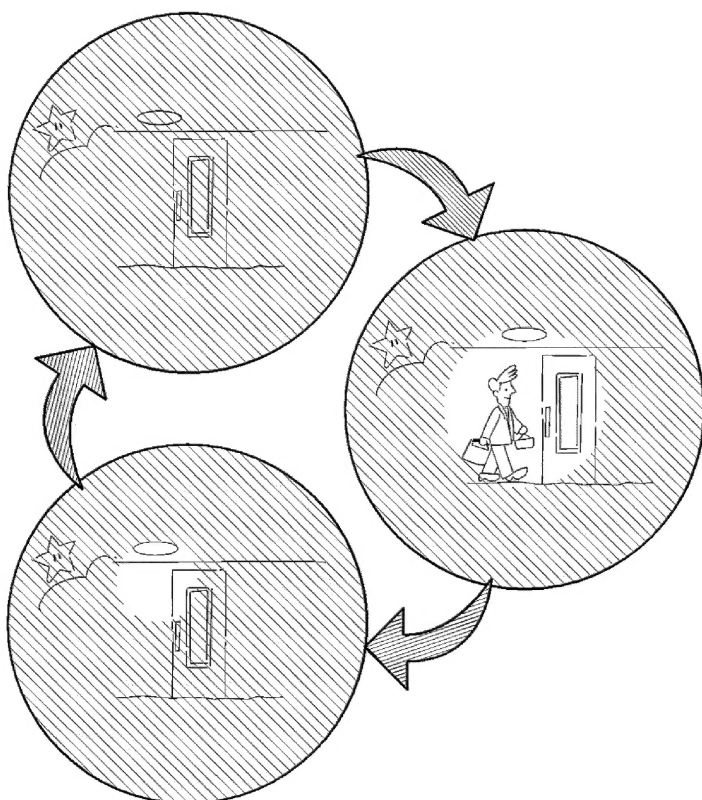
TOSHIBA
Leading Innovation >>>

取扱説明書

CPQ2　B　保存用
人感センサー（マルチタイプ）

お客様へ
●ご使用の前に説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●照明器具の取付工事は必ず工事店・電器店(有資格者)に依頼してください。

工事店様へ
●施工の前にこの説明書をよく読み、お客様と打合せのうえ、お客様のご使用に合わせたセンサーの設定にしてください。
●この説明書は必ずお客様にお渡しください。

人感センサー付照明器具の特徴

人感センサー
人を検知してLEDが自動点灯
●人がいなくなると約1分後に消灯します。
●センサーの検知範囲は状況に合わせて調整できます。

強制ON
いつでもLEDを点灯できる
●人感センサーを解除していつでもLEDを点灯させることができます。
●家の中から玄関先の様子を見るときなどに便利です。

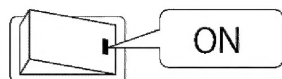
ソフトスタート
LEDはゆっくり明るくなる
●約2秒で100%点灯状態になります。
●徐々に明るくなるので、まぶしさに目がくらむことがありません。

フェードアウト
LEDはゆっくり暗くなる
●約2秒でゆっくり暗くなります。
●人の動きがないときでも突然消えないので安心です。(少し動けばまた明るくなります。)

もくじ

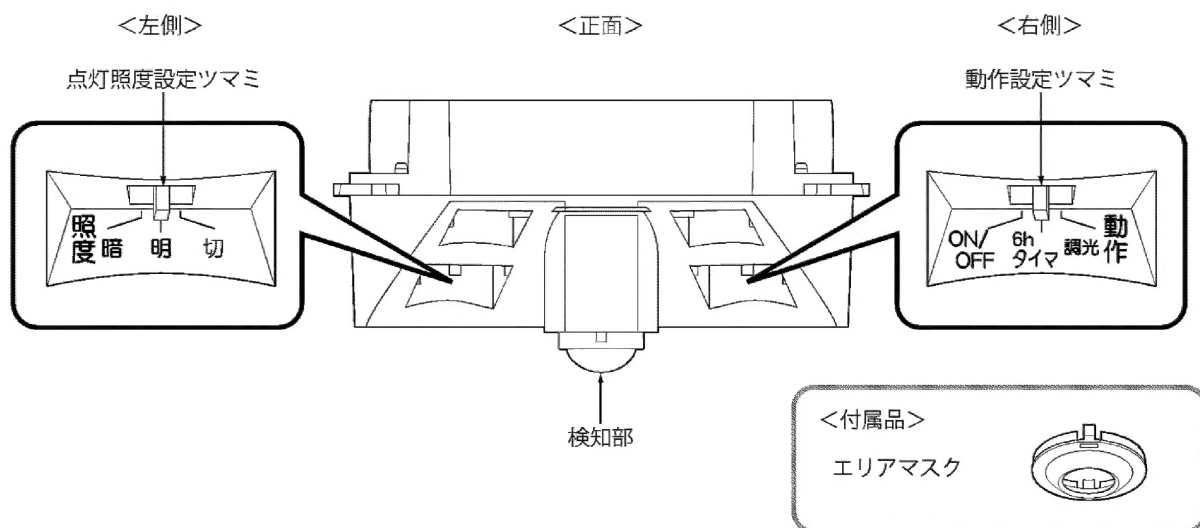
注) エリアマスクを取付けることで、感知エリアが調節できます。
必ず感知エリアを確認してください。
(P、3を参照してください。)

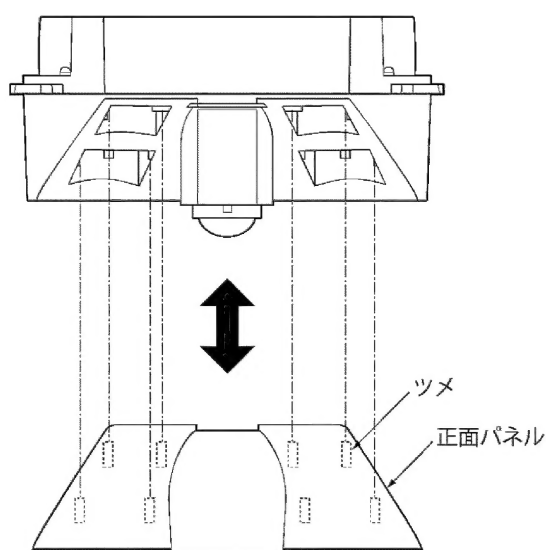
この説明書は必ずお客様にお渡しください

ご使用のときは

壁スイッチ(=電源)は「ON」状態でご使用ください。

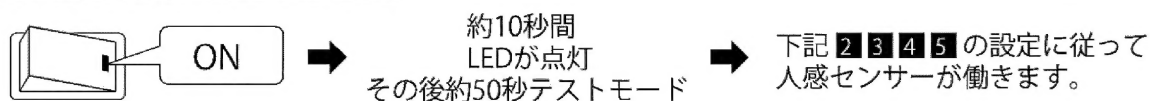
●「OFF」状態では人感センサーは働きません。

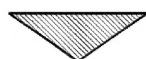
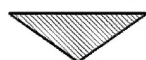
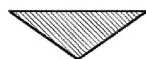
センサー各部の名称

設定ツマミを調整するとき

●設定ツマミを調整するときは、器具本体の枠を手で押えながら正面パネルを図のように下に引っぱり、取り外してください。

●設定が完了しましたら、正面パネルのツメをセンサー本体に合わせて、確実に取り付けてください。

人感センサーの働きを決める

1 壁スイッチを「ON」にする

➡ 約10秒間
LEDが点灯
その後約50秒テストモード ➡ 下記 2 3 4 5 の設定に従って人感センサーが働きます。

※壁スイッチは「ON」の状態でご使用ください。
※この取扱説明書では、壁スイッチ「ON」の状態で説明しています。

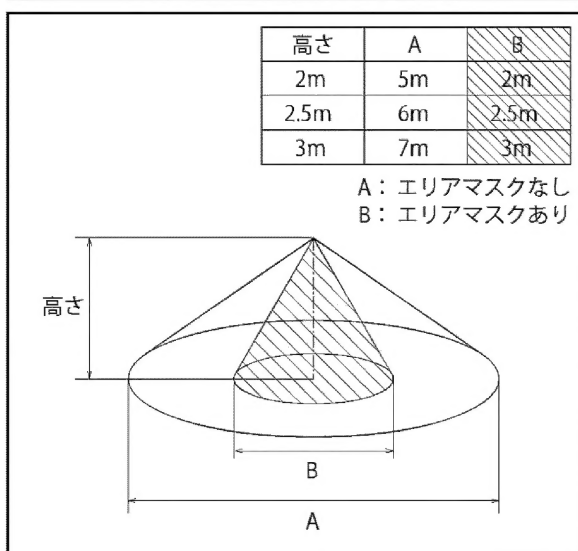
2 人感センサーの検知範囲を調整する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.3

3 人感センサーの検知範囲を確認する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.4

4 LEDを自動的に点灯/消灯させる周囲の明るさを決める ・・・・・・(点灯照度設定) P.4

5 照らしかたを決める・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(動作設定) P.5

2 人感センサーの検知範囲を調整する

●下図の説明を参考に調整し、次のページの 3 で検知範囲を確認してください。
●下図の( )内の数値は、エリアマスクを利用した場合の検知範囲です。検知範囲を調整しても、ひんぱんにセンサーが反応してしまうときは、エリアマスクをご利用ください。
(下記「エリアマスクの利用」参照)

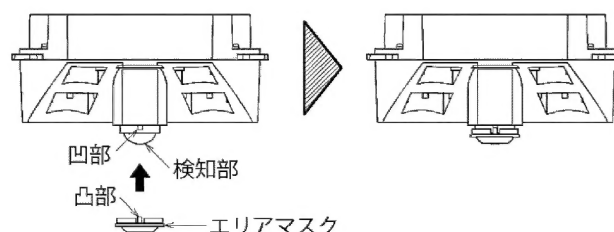
人感センサーの検知範囲

高さ	A	B
2m	5m	2m
2.5m	6m	2.5m
3m	7m	3m

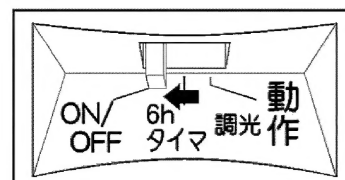
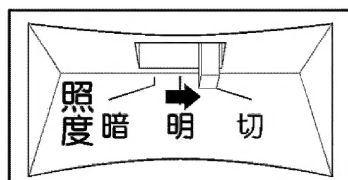
A：エリアマスクなし
B：エリアマスクあり

ひんぱんにセンサーが反応してしまうとき（エリアマスクの利用）

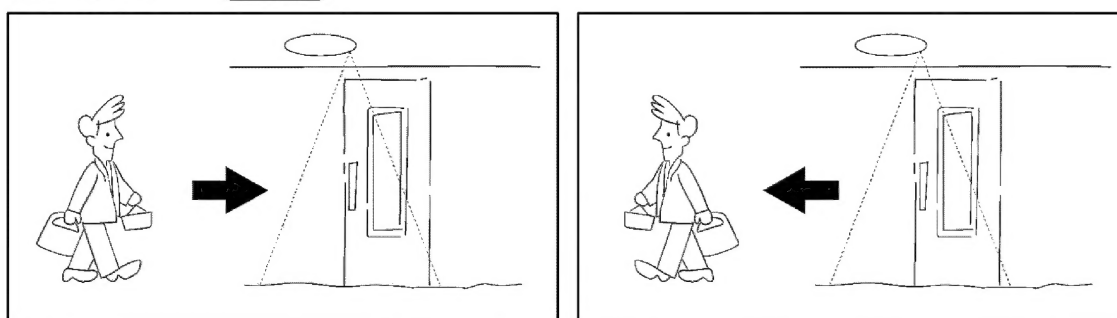
●検知範囲の近くに人や車が通る道があると、必要のないときまでLEDが点灯する場合があります。
➡そのときはセンサーの検知部に「エリアマスク」を取り付けると検知範囲をせまくできます。

エリアマスクの取付方法

エリアマスクの凸部を、検知部側面の凹部にはめ込む

3 人感センサーの検知範囲を確認する

点灯照度設定ツマミ「切」、動作設定ツマミ「ON/OFF」にすると、昼間・夜間に関係なく検知範囲に人が入るとLEDが約1分間点灯し、その後消灯します。

❶センサー左側の点灯照度設定ツマミを「切」に合わせる。　センサー右側の動作設定ツマミを「ON/OFF」に合わせる。

❷検知範囲に入ったり、出たりしながらLEDの点灯／消灯を確認する。

●検知範囲に関して P.3参照

❸必要に応じてエリアマスクを取り付け、検知範囲を調整する。P.3参照

❹点灯照度設定ツマミを「暗」または「明」、「切」に設定する。下記参照

❺動作設定ツマミを「調光」または「6hタイマ」、「ON/OFF」に設定する。 P.5参照

4 LEDを自動的に点灯／消灯させる周囲の明るさを決める 点灯照度設定

周囲の明るさによってLEDを自動的に点灯させたり消灯させたりする条件を設定できます。

●周囲が少し明るくても点灯させたいときは「明」に、暗くなってから点灯させたいときは「暗」に設定します。

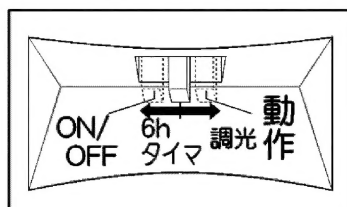
●周囲の明るさに関係なく点灯させたいときは「切」に設定します。

❶センサー左側の点灯照度設定ツマミを「暗」または「明」、「切」に合わせる。

設定		周囲の明るさ	LED
	暗のとき	夜、暗くなったら(約15ルクス以下)	点灯
		早朝、少し明るくなったら	消灯
	明のとき	夕方少し暗くなったら(約45ルクス以下)	点灯
		朝、明るくなったら	消灯
	切のとき	明るさに関係なく(約10000ルクス以下)	点灯

5 照らしかたを決める 動作設定

照らしかたは3つのモード「調光」「6ｈタイマ」「ON/OFF」の中から１つ選ぶことができます。

●【ほのかな明かりで照らす】＋【人が来たら明るく照らす】➡「調光」モードに設定
●【ほのかな明かりで照らす(真夜中は消灯)】＋【人が来たら明るく照らす】➡「6hタイマ」モードに設定
●【消灯】＋【人が来たら明るく照らす】➡「ON/OFF」モードに設定

センサー左側の動作設定ツマミで
お好みのモードを選ぶ

条件 ＼ 動作設定	昼(明るいとき)	夜(暗いとき)		
	人がいるとき／いないとき	人がいないとき	人が来たとき	人がいなくなったとき
調光モード (夜間は消灯なしで安心)	消灯	ほんのり点灯状態	100%点灯状態	約1分でほんのり点灯状態に戻る
6ｈタイマ モード (真夜中は消灯させて節電)	消灯	ほんのり点灯状態	100%点灯状態	約1分でほんのり点灯状態に戻る
		ほんのり点灯をはじめてから約6時間経過後(真夜中)		
		約1分で消灯	100%点灯状態	消灯
ON/OFF モード (必要なときだけ点灯)	消灯	消灯	100%点灯状態	消灯

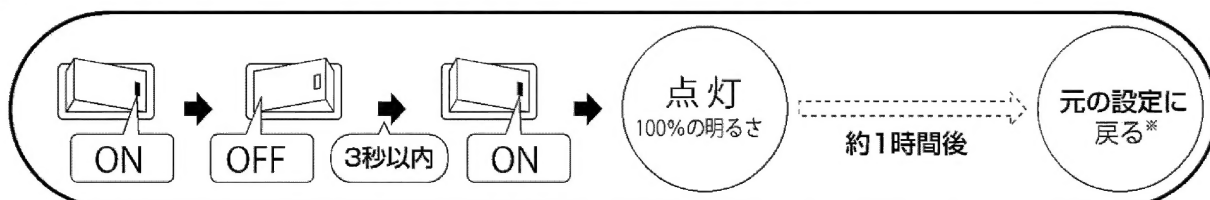
※点灯照度設定スイッチが「切」の場合、周囲の明るさに関係なく、人体を検知し、点灯します

LEDを今すぐ点灯させたいとき 「強制ON」モード

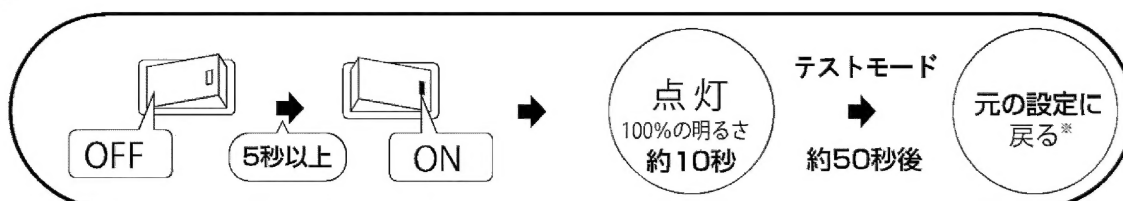
人の有無や周囲の明るさに関係なく、LEDを強制的に点灯させることができます。

LEDを強制的に点灯させるとき (「強制ON」モードで使用するとき)

❶壁スイッチを「ON」にする。(すでに「ON」の場合はそのまま)

❷壁スイッチを「OFF」にし、3秒以内に「ON」にする。

元の設定に戻すとき (使用していた設定状態にすぐに戻したいとき)

❶壁スイッチを「OFF」にしてから5秒以上待つ。

❷壁スイッチを「ON」にする。

※元の設定に戻ったとき、設定内容や周囲の明るさなどにより、LEDの点灯状態が異なります。
(設定内容により異なる)

修理を依頼される前に

●センサーの働きがおかしいときは下記を参考に点検を行ってください。

●処置をした後でも異常があるときは必ず壁スイッチを「OFF」にし、お買い上げの販売店、工事店、または照明器具の取扱説明書に記載の当社相談窓口までご連絡ください。

現　象	考えられる原因		処置方法
LEDが消灯しない		壁スイッチを「OFF」にして約3秒以内に「ON」にした。	「強制ON」モードになっています。壁スイッチを「OFF」にして5秒以上経過後「ON」にしてください。(P.6参照)
	明け方	センサー左側の「点灯照度設定」のツマミが「明」または「切」になっている。	朝、明るくなるまでセンサーが働く設定になっています。「点灯照度設定」のツマミを「暗」にしてください。(P.4参照)
	明るいとき	照明器具の取付場所が薄暗い。(昼間でも暗いときがある)	「6hタイマ」モードでご使用の場合、昼間でも周囲が薄暗いときは、まれにセンサーが夜と勘違いしてLEDをほんのり点灯(約6時間継続)させることがあります。壁スイッチを「OFF」にして5秒以上経過後「ON」にしてください。(P.6参照)
	明るいとき	昼間でも、曇り、雨などで周囲が暗くなった。	同上
	明るいとき	センサーの検知部を傘、手などで覆ってしまった。	同上
	明るいとき	センサー左側の「点灯照度設定」のツマミが「切」になっている。	周囲の明るさに関係なくセンサーが働く設定になっています。「点灯照度設定」のツマミを「暗」または「明」にしてください。(P.4参照)
検知範囲に人がいるのに点灯しない	夕方	センサー左側の「点灯照度設定」のツマミが「暗」になっている。	暗くなりはじめたらセンサーが働く設定になっています。「点灯照度設定」のツマミを「明」にしてください。(P.4参照)
	暗いとき	壁スイッチが「OFF」になっている。	壁スイッチを「ON」にする。
	暗いとき	センサーの検知部に他の照明器具の光が当たっている。	1．センサーの検知部に当たる光を遮断してください。 2．検知範囲内の照明器具を取り除いてください。
	暗いとき	センサーの検知部のレンズが汚れている。	センサーの検知部のレンズの汚れを柔らかい布で拭き取ってください。

現　象		考えられる原因	処置方法
検知範囲に人がいないのに点灯する		壁スイッチを「ON」にした直後。 または、停電から復帰直後。	壁スイッチを「ON」にしたときは、約30秒間100%点灯状態になります。
	暗いとき	検知範囲内に人以外の熱源がある。 ＜例＞ ・自動車の熱やヘッドライト ・近くの道路の通行人 ・犬や猫などの動物 ・風などでよく揺れるもの (洗濯物、旗、植木など) ・他の照明器具 ・エアコンなどの吹出口からの風 ・強いノイズ(無線ノイズなど)	1．検知範囲を調整する。(P.3参照) 2．熱源を取り除く。 検知範囲内に左記の例のようなものがあれば、周囲の温度変化を検知し、センサーが働くことがあります。
検知範囲に人がいるのに消灯する	暗いとき	検知範囲内で人が静止している。	静止している人は検知できません。
検知範囲が狭い	暗いとき	雨の日に傘などで顔や手が隠れている。	センサーは温度変化を検知するため、左記の場合は検知しにくくなることがあります。
		マフラーで顔を覆ったり手袋をしたりして肌の露出部分が少ない。	
		夏の暑い日など周囲温度と人との温度差が少ない。	
		器具(センサー)に向かって正面から近づいている。	センサーの特性上、正面から近づくと検知しにくいときがあります。

クリーニング方法

●乾いた布で汚れを拭き取ってください。汚れが落ちにくい場合は、よく絞った布で拭き取り、最後に乾いた布で拭き取ってください。

●クリーニング後、動作を確認してください。以前と動作が違った場合、再度、設定してください。

直接、センサーに水をかけないでください。故障の原因となります。

この説明書は必ずお客様にお渡しください